

企業大学訪問を通じ、様々なことを知り、学ぶことができました。アポを取ることや、調べ学習は、大変でしたがその甲斐ある実りが得られたと思います。

まず、学んだことの1つ目は、臨床医の仕事の現場を直接見る事ができたことです。自分が本やテレビなどで見ているものとは、大きく異なっているところがいくつもありました。医者とはただ、手術の技術があり、医学的な知識が豊富というイメージが現代社会にあります。実際には患者とのコミュニケーションや心理的配慮がもっと大事です。現場を通じ、それを深く実感することができました。それにより、自分が今何しなければならず、医者に何を求められているのかを考える機会になりました。また、お話を聞くなかで、手術を何時間も続けて行ったり、夜中まで行ったりといった、医者の過酷さを知ることができました。それにより、生半可な気持ちで医者を志すのはよくないと分かり、気を引き締められました。

2つ目は、放射線治療を具体的に知ることができたことです。放射線治療では、体の中の腫瘍に、放射線を当てることでそれらを壊したり、小さくすることが可能です。イギリスでは、手術や抗ガン剤といった治療が確立されていなかった19世紀に癌の治療として用いられました。20世紀後半からは、日本でも医学に取り入れられるようになりました。また、現在はピンポイント照射により、より安全で高線量放射が可能になりました。その他にも、抗ガン剤の効果がある放射線を使った化学放射線療法などがあり、医学の進歩を感じる良い機会となりました。

3つ目は、自分で新しい夢を見つけるきっかけを持てたことです。以前の私は、医師になるという漠然とした夢しか持っていませんでした。それは、自分が医療分野について確立した知識がなく、現在の医学における研究すべき事柄を塾考できていなかったことが原因でした。しかし、この企業大学訪問を通じて、それらを探し見出す良い機会となりました。将来の夢をはっきりえがくことができるようになったと思います。

次に、東京大学オープンキャンパスで、学んだことを書きたいと思います。

1つ目は、最先端の研究を知ることができたことです。私は主に理系の研究所へ行きました。そこでは、生物、物理、化学、地学問わず最先端でかつ今までの歴史でできていないことに挑戦していました。大学生や大学院生に話を聞き、自分自身理解が難しいところが幾つかありましたが、確実に科学は進歩しているとわかる場所もあり、とても、興味深いと感じました。また、今までの常識が覆されるようなことがあり、驚きと興奮に胸が包まれました。自分も大学に進学したときに最先端の研究でかつ、人の役に立つことができたかなと思います。

2つ目は、東京大学の校風を知ることができたことです。東京大学は、明治から続く伝統ある大学で、日本で最も古い大学です。そのため、さまざまところで、伝統を感じる場所がいくつもありました。特に、講堂は明治の文化が継承されており、とても感銘を受けました。また、外観だけでなく大学の雰囲気も会見え、他大学との大きな違いがわかりました。貴大学が人気である理由が理解できる気がします。その他、大学の年間行事も見ることができ、東大生がどのような生活をおくっているのかも知ることができました。参考になりました。

次に、OB、OGとの談話について書きます。さまざまなことを学びました。

1つ目は、高校時代の過ごし方を知ることができたことです。自分自身、目的をはっきりとしないまま学校の授業や自主学習に取り組んでいました。そのため、どれも中途半端に終わってしまうことが多く、成績も伸びることがほとんどありませんでした。しかし、OBの方々にお話を聞くなかで、アドバイスをいただき、根性が必要とわかりました。明日やれば良いという気持ちを持って、自分から脱却できるように頑張ります。また、部活や学校との向き合い方を教えていただき、文武一道の本当の意味や理想を理解することができたと思います。

2つ目は、いろんな方向から東京大学を知ることができたことです。世間一般で言われている東大や自分の思っている東大とは、違う多面的な東大を知ることができ、すごく興味深いと感じました。特に、東京大学は他大学に比べ、今年夏休みが少ないとOB、OGの方に言われたときは、とても参考になる情報だなと思いました。その他、それぞれの学部の良い点、悪い点をお話いただき、学部についても深く考えさせられました。OB、OG

の方々には、お忙しいなかわざわざ後輩のために時間をつくっていただき、本当に感謝しています。

次に三菱商事訪問で、学んだことを書きたいと思います。

1つ目は、多様な価値観を認めることの大切さを学んだことです。社員の方々にお話を聞くなかで、これから日本では、ますます外国人と携わる機会が多くなると言われました。また、そのとき最も大切なことは、その国の文化や伝統を理解することだとも言われ、価値観の多様性は、とても必要になってくると思いました。また、会社などで海外事業を展開する上でも知っておくべきことだなと思います。そして、そのために留学も進められました。将来のために考えたいなと思いました。

2つ目は、コミュニケーション能力の大切さに気付けたことです。社員の方々には、高校時代に鍛えて欲しいとも言われ、大人になる上で、最も大切なことだと思いました。将来どの仕事に就職しても人と携わる機会がありますし、日常生活においては、なおさらです。人生をよりよく、楽しんで生きるためにはとても必要になってきます。それを高校時代に気づくことができ、とても運がよかったなと思いました。社員の方々には、非常にお忙しいなか、時間をつくっていただき本当に嬉しく思います。社員の方々のような確立した大人になれるように努力します。

次に、企業大学訪問を終えての感想を書きたいと思います。私は、この企業大学訪問を通じ、人との関わりの大切さを学びました。企業大学訪問では、さまざまな年齢層の多種多様な価値観を持った素晴らしい方々と出会いました。そこでは、大学の情報や人生のアドバイス、勉強法などさまざまなことを知ることができました。それは、自分1人の力では、見つけることのできないものばかりで、企業大学訪問を終えた今でも、参加してよかったなと思えます。人と関わるとは、それだけたくさんの価値観や考え方に触れられ、学べる素晴らしいものだと思います。これから特に、大切にしていきたいです。

また、仲間の凄さに気づくこともできました。毎日、何気なく接している仲間が、アメリカに留学したことがあったり、いろんな人と顔見知りだったりして、こんなに素晴らしく、優秀な仲間と生活しているのだなと思いました。本当に感動です。また、同じ夢を持った仲間が自分の他にたくさんいると気づく機会にもなり、自分の手綱を締め直し、頑張ろうと思えました。1泊2日という、短い間ではありましたが、とても濃密で学ぶことや発見することがたくさんある素晴らしい時間だったと思います。これから、志望大学へ向けて勉強するなかで、良いモチベーションになると確信しています。